

【6月2日】

昨夜は、11 時頃には就寝し 6 時頃目が覚める。窓越しに見えた外の景色は冷え冷えとしているように感じた。7 時過ぎに朝食のために 1F に降り、外へ出たら頬が皷るような寒さ。用意してきた冬用の服装で 8 時半に出発。今日は湿原と関連施設を一日かけて廻る予定で、まず、釧路市丹頂鶴自然公園へ。当公園は、丹頂鶴の保護増殖を目的とした施設で、柵の内側に放飼いにされた丹頂鶴を間近に見ることができる。(写真 4) 現在、丹頂鶴は、大陸に 1600 羽北海道東部に 1200 羽(最新データでは約 1900 羽)だそうで、どう考えても絶滅危惧種だ。(写真 5)

次に「釧路湿原野生生物保護センター」を訪問した。この施設は環境省直轄の施設で、傷ついたオジロワシやオオワシ、シマフクロウなどの治療・リハビリ施設で、ゲージの近くには行けなかったが、治療中のオオワシの姿を望遠レンズで捉えることが出来た。世界最大級のフクロウ、シマフクロウは、その生息数が 200 羽以下とされており、まさしく絶滅危惧種、保護政策を強めていくことが必須だ。



写真-1 北方向：ハンノキ林から湿原が広がる



写真-2 南方向：釧路市街

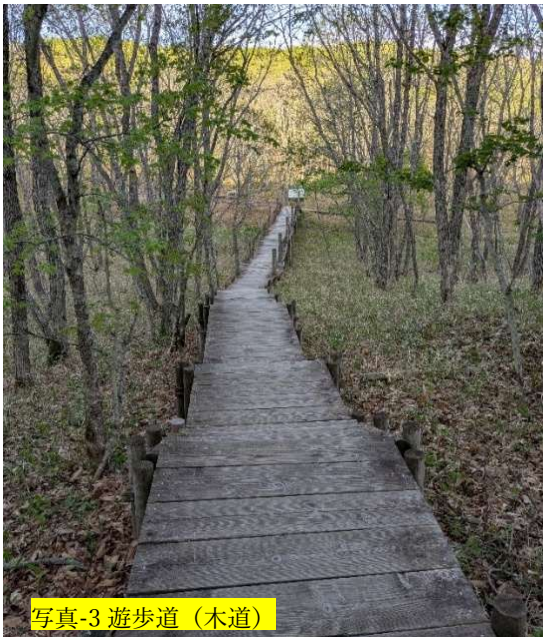


写真-3 遊歩道(木道)



写真-4 柵内に放飼いのタンチョウ



写真-5 リハビリ中のオオワシ



写真-6 オジロワシの子育て